

模擬ディベートでジャッジ
批判的に聞く

1 この学習をするにあたって
 聞くという行為の中には、単に話を受け入れる受動的なものだけでなく、話し手が伝えようとしている内容に対して、「なぜ そう言えるのか。」「主張・意見と根拠の結びつきは正しいのか。」「他の考え方はできないのか。」などと、自分自身の中で問い かけながら聞くといった能動的なものがある。ここでは、模擬ディベート（正式なディベートの一部）を通して、後者の聞き方 を体験、練習することにより批判的に聞く力を付け、最終的に「自分の考えを筋道立てて述べる力」の育成につながるよう にし ていきたい。

2 学習のねらい
 話し手の主張の根拠などを聞き、その正当性、信頼性、整合性を判断する力を養う。

3 学習指導案（全1時間）

時数	学習内容	指導上の留意点
第1時	1 本時の流れを知る。(3分) 教師による本時の流れの説明を聞き、理解する。 2 模擬ディベートを聞く。(7分) 書き方の指示に従い、必要事項を意識して、フローシートにメモをしながら聞く。 【評価】	・本時の全体の流れを説明することにより、授業に臨む動機づけを図る。 ・司会者、肯定側、否定側（各一人）を、あらかじめ決めておき、模擬ディベート原稿の読みを練習させておく。

時数	学習内容	指導上の留意点
第1時	<p>3 自分の判定を下す。(20分) フロアシートを整理する。 フロアシートを基にして、ジャッジシートに自分の判定を下し、判定理由を記入する。</p> <p>【評価】</p> <p>4 グループに分かれ、自分が下した判定と判定理由について述べ合う。(10分) 4～5人のグループで意見交換をする。</p> <p>5 模擬ディベートの解説を聞く。(5分) 教師による説明を聞き、理解する。</p> <p>6 各自、本時の感想を書く。(5分) 【評価】</p>	<p>・記入したフロアシートに基づいて、肯定側、否定側それぞれの立場の立論の説得力の度合、根拠の信頼性の度合、尋問に対する答えの整合性の度合など、冷静に中立の立場で判定を下させる。</p> <p>・グループ内での話し合いを通して、論理的、批判的な聞き方、どうすれば説得力のある主張になるのかなどについて、考えさせる機会にする。</p>

4 具体的評価規準と評価方法

話し手の根拠、根拠に対する尋問および答えを聞き分けて、聞き取ることが出来る。(フロアシートの確認)
 主張の説得力、根拠の信頼性、尋問に対する答えの整合性の度合などを判断できる。(ジャッジシートの確認)
 批判的に聞くということの意識が高まっている。(グループでの話し合い中の机間指導による観察、各自の感想の確認)

5 利用教材

模擬ディベート原稿、フロアシート、ジャッジシート